



平成30年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年7月12日

上場会社名 株式会社 ホテル、ニューグランド
コード番号 9720 URL <https://www.hotel-newgrand.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 賢治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 岸 晴記

TEL 045-681-1841

四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第2四半期の業績(平成29年12月1日～平成30年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第2四半期	2,459	1.6	94		95		92	
29年11月期第2四半期	2,499	6.8	144		144		143	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第2四半期	82.85	
29年11月期第2四半期	126.52	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
30年11月期第2四半期	8,679		2,749		31.7	2,465.95
29年11月期	8,109		2,835		35.0	2,548.36

(参考)自己資本 30年11月期第2四半期 2,749百万円 29年11月期 2,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期		0.00		0.00	0.00
30年11月期		0.00			
30年11月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年11月期の業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,050	0.0	3		2		18		16.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年11月期2Q	1,173,428 株	29年11月期	1,171,280 株
期末自己株式数	30年11月期2Q	58,483 株	29年11月期	58,421 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年11月期2Q	1,113,446 株	29年11月期2Q	1,136,124 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、海外経済の持ち直しなどを背景に、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調で推移したものの、海外の政策動向や金融市場の変動等、先行きは未だ不透明な状況であります。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間の売上高は、2,459,365千円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、前期にホテル事業の有形固定資産を減損処理したことにより減価償却費が減少したため、1,773,987千円（前年同四半期比5.2%減）となりました。営業損失は94,055千円（前年同四半期は144,139千円の営業損失）、経常損失は95,976千円（前年同四半期は144,060千円の経常損失）となりました。

また、当第2四半期累計期間の四半期純損失は92,248千円（前年同四半期は143,745千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会（婚礼）需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ホテル事業)

ホテル事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,430,570千円（前年同四半期比1.6%減）、営業損失113,626千円（前年同四半期は163,681千円の営業損失）となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門594,543千円（前年同四半期比7.5%減）、レストラン部門722,330千円（前年同四半期比0.7%増）、宴会部門926,589千円（前年同四半期比0.5%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高28,794千円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益19,570千円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の分析

(資産)

資産合計は8,679,013千円（前事業年度末比569,634千円増）となりました。

主な要因は現金及び預金152,842千円の増加や売掛金30,951千円の減少、前払費用21,568千円の減少、有形固定資産457,539千円の増加、差入保証金15,071千円の増加などです。

(負債)

負債合計は5,929,609千円（前事業年度末比656,197千円増）となりました。

主な要因は買掛金83,349千円の減少や短期借入金185,000千円の増加、長期借入金1,000,000千円の増加、役員退職慰労引当金135,525千円の減少、未払法人税等56,248千円の減少、未払消費税等162,036千円の減少、未払金93,254千円の減少などです。

(純資産)

純資産合計は2,749,403千円（前事業年度末比86,563千円減）となりました。

主な要因は株主資本86,359千円の減少などです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ152,842千円増加し、749,692千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は420,308千円(前年同四半期は249,813千円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純損失90,213千円、減価償却費143,607千円、役員退職慰労引当金の減少額135,525千円、未払消費税の減少額162,036千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は611,636千円(前年同四半期は77,728千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出618,038千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は1,184,787千円(前年同四半期は57,804千円の増加)となりました。これは主に、短期借入れによる収入185,000千円、長期借入れによる収入1,000,000千円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、前回公表(平成30年4月12日)から、予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日(平成30年7月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

	前事業年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成30年5月31日)
(単位：千円)		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	596,849	749,692
売掛金	272,434	241,482
原材料及び貯蔵品	92,236	94,644
未収還付消費税等	-	3,742
その他	60,081	37,095
貸倒引当金	△50	△40
流動資産合計	1,021,551	1,126,618
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,573,998	7,685,294
減価償却累計額	△4,421,734	△4,474,237
建物(純額)	3,152,264	3,211,056
建物附属設備	5,344,730	5,509,743
減価償却累計額	△4,453,167	△4,504,861
建物附属設備(純額)	891,563	1,004,881
土地	2,548,115	2,548,115
その他	1,717,598	1,799,764
減価償却累計額	△1,488,856	△1,521,132
その他(純額)	228,741	278,631
建設仮勘定	39,895	275,434
有形固定資産合計	6,860,580	7,318,120
無形固定資産	56,136	53,705
投資その他の資産	171,109	180,568
固定資産合計	7,087,827	7,552,394
資産合計	8,109,379	8,679,013
負債の部		
流動負債		
買掛金	372,433	289,084
短期借入金	300,000	485,000
1年内返済予定の長期借入金	620,000	620,000
未払費用	279,013	272,478
未払法人税等	65,538	9,290
未払消費税等	162,036	-
未払事業所税	15,961	7,995
前受金	127,606	147,306
引当金	3,754	4,245
その他	152,235	56,097
流動負債合計	2,098,579	1,891,497
固定負債		
長期借入金	1,260,000	2,260,000
長期末払金	-	33,150
再評価に係る繰延税金負債	503,998	503,998
退職給付引当金	993,800	959,455
役員退職慰労引当金	135,525	-
長期預り保証金	281,508	281,508
固定負債合計	3,174,832	4,038,112
負債合計	5,273,412	5,929,609

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成30年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,455,000	2,003,222
資本剰余金	2,957,541	322,495
利益剰余金	△4,092,892	△92,248
自己株式	△162,693	△162,871
株主資本合計	2,156,955	2,070,596
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,985	△15,189
土地再評価差額金	693,996	693,996
評価・換算差額等合計	679,011	678,807
純資産合計	2,835,966	2,749,403
負債純資産合計	8,109,379	8,679,013

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
売上高	2,499,413	2,459,365
売上原価	772,887	779,432
売上総利益	1,726,525	1,679,932
販売費及び一般管理費	1,870,665	1,773,987
営業損失(△)	△144,139	△94,055
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,610	1,655
還付加算金	2,129	-
固定資産売却益	-	823
その他	671	717
営業外収益合計	4,411	3,196
営業外費用		
支払利息	4,131	5,055
その他	201	61
営業外費用合計	4,332	5,116
経常損失(△)	△144,060	△95,976
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	-	29,475
特別利益合計	-	29,475
特別損失		
固定資産除却損	561	23,712
特別損失合計	561	23,712
税引前四半期純損失(△)	△144,622	△90,213
法人税、住民税及び事業税	60,167	2,035
法人税等調整額	△61,044	-
法人税等合計	△877	2,035
四半期純損失(△)	△143,745	△92,248

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△144,622	△90,213
減価償却費	246,325	143,607
固定資産除却損	561	23,712
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23,014	△34,345
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△15,749	△135,525
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△90	△10
受取利息及び受取配当金	△1,610	△1,655
支払利息	4,131	5,055
営業債権の増減額(△は増加)	△35,184	30,951
たな卸資産の増減額(△は増加)	824	△2,408
未収還付消費税の増減額(△は増加)	241,776	△3,742
仕入債務の増減額(△は減少)	△124,727	△83,349
未払費用の増減額(△は減少)	6,396	△6,716
前受金の増減額(△は減少)	△13,205	19,700
未払金の増減額(△は減少)	△59,199	△97,907
未払消費税の増減額(△は減少)	86,241	△162,036
その他	18,337	14,439
小計	233,221	△380,443
利息及び配当金の受取額	1,610	1,655
利息の支払額	△1,500	△5,078
法人税等の支払額	△5,516	△36,442
法人税等の還付額	21,998	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	249,813	△420,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△82,728	△618,038
有形固定資産の売却による収入	-	1,402
保険積立金の解約による収入	5,000	5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,728	△611,636
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	185,000
長期借入れによる収入	-	1,000,000
自己株式の取得による支出	△241,822	△178
配当金の支払額	△361	△31
その他	△11	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,804	1,184,787
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	229,889	152,842
現金及び現金同等物の期首残高	619,599	596,849
現金及び現金同等物の四半期末残高	849,489	749,692

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年2月22日開催の第140回定時株主総会決議に基づき、平成30年3月10日付で、資本金1,455,000千円及び資本準備金900,000千円をその他資本剰余金に振り替えた後、その他資本剰余金4,092,892千円を繰越利益剰余金の欠損補填に充当いたしました。

なお、株主資本の合計金額に、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,470,703	28,709	2,499,413	-	2,499,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,470,703	28,709	2,499,413	-	2,499,413
セグメント利益又は損失(△)	△163,681	19,541	△144,139	-	△144,139

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成29年12月1日 至 平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,430,570	28,794	2,459,365	-	2,459,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,430,570	28,794	2,459,365	-	2,459,365
セグメント利益又は損失(△)	△113,626	19,570	△94,055	-	△94,055

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。